Catalogue No.
20688-502

竹製品



1 お手入れ方法

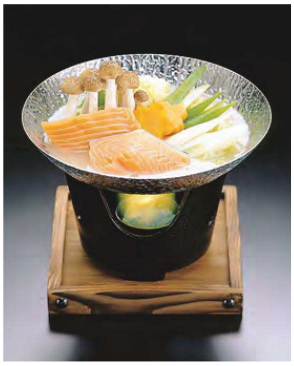
- 通常は柔らかい布や布巾で空拭きしてください。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、水をよく切り風通しの良いところで日陰干ししてください。

2 使用上の注意

- 湿気の多い場所や風通しの悪い場所での保管は避けてください。カビの発生の原因となります。
- 長時間湯水につけたり、直射日光に当てないでください。又レンジや洗浄機は使用しないでください。
- 竹製品等の場合、ささくれだっている物もございます。指等にささらないようご注意ください。

金属製品

コンロ・鍋関係



- 絶対に空焚きしないでください。
- 加熱中、金属部分は熱くなりますのでやけどにご注意ください。
- コンロをご使用の際には必ず敷板を敷いてご使用ください。
- 附属品（敷板、火皿等）はご使用前に確認してください。
- 使用後は良く洗って空拭きした後乾燥してください。
- スチールたわし、金属ヘラ、みがき粉等を使用しないでください。
- 金属製器具のため、電子レンジでは使用しないでください。

メッキ商品



- 洗浄機は使用しないでください。塗装の剥離、黒ずみの原因になります。
- 使用後は水洗いの後柔らかい布で拭いてください。
- 銀メッキの商品は、硫黄分の多い温泉地等で使用しますと硫化しやすくなり、変色する場合がありますのでご注意ください。
- 表面が水垢等で汚れた場合は、金属クリーナーを適量柔らかい布などにつけ、軽く磨いてください。

ガラス製品



- ガラスは製造上、多少の気泡や流れ模様、ひずみが入る場合があります。また、透明度、厚み、色むら等バラツキがある場合があります。
- 使用始めは、中性洗剤などで洗浄してください。
- 食器洗浄機は使用できません。手洗いしてください。
- 洗浄時に、研磨剤スポンジ・金たわしなどを使用しますとキズや破損の原因になりますので使用しないでください。
- キズがつくと破損しやすくなります。キズ、カケ等の異常がある場合は使用しないでください。
- 急激な温度差での使用は避けてください。（急激な温度変化で割れることがあります。）
- 局所的に衝撃をかけないでください。破損の恐れがあります。
- 耐熱ガラスではありません。電子レンジ、オーブン、直火などの使用はしないでください。
- 長時間水を入れたままにしますと水垢などがこびりつき落ちにくくなりますので適宜に洗ってください。